

火災予防分野における各種手続の電子申請等の導入に向けた検討会(第4回) 議事要旨

1 日時:令和3年12月9日(木)10:00~12:00

2 場所:WEB会議

3 出席者 (敬称略)

(1) 委員

石井 夏生利(中央大学国際情報学部教授)
加藤 恵介(岡山市消防局消防総務部予防課長)
小林 恭一(東京理科大学総合研究院教授) ※委員長
下原 壽宏(神戸市消防局予防部査察課長)
高倉 弘喜(国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系教授)
田中 智子(東京消防庁予防部予防課副参事)
田村 公夫(千葉市消防局予防部予防課長)
外山 貴彦(御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課長)
三木 浩平(総務省デジタル統括アドバイザー)
村上 治三郎(川崎市消防局予防部危険物課長)

(2) オブザーバー

木原 正則(一般財団法人日本消防設備安全センター専務理事)
河野 健人(株式会社富士通ゼネラル情報通信システム本部情報システム事業部第二開発部長)
近藤 紀子(株式会社DTS WEST開発事業本部公共ソリューション部部长)
佐藤 勝巳(地方公共団体情報システム機構ICTイノベーションセンター副センター長兼研究開発部長)
佐藤 芳洋(日本電気株式会社第一都市インフラソリューション事業部マネージャー)
日笠 隆雄(沖電気工業株式会社ソリューションシステム事業本部社会インフラソリューション事業部地域ソリューション第一部第二チーム)
堀田 久視(株式会社日立製作所公共システム事業部主任技師)
山岸 孝昭(デジタル庁国民向けサービスグループフロントサービス担当マイナポータル班参事官補佐)

4 配布資料

議事次第

資料4-1 実証実験の結果報告

資料4-2 火災予防分野の各種手続に係る電子申請等の標準モデルの構築に関する報告書(案)【概要版】

資料4-3 火災予防分野の各種手続に係る電子申請等の標準モデルの構築に関する報告書(案)

資料4-4 火災予防分野の各種手続における電子申請等導入マニュアル(案)【概要版】

資料4-5 火災予防分野の各種手続における電子申請等導入マニュアル(案)

資料4-6 電子申請等の普及策

5 議事

- (1) 実証実験の結果報告
- (2) 標準モデル報告書、導入マニュアルの取りまとめ
- (3) 電子申請等の普及策

6 主な意見交換 (○:委員、オブザーバー、●:事務局)

(1)「議事(1) 実証実験の結果報告」

- 今回実証実験で用いた電子申請の方法は、マイナポータルぴったりサービス(以下「ぴったりサービス」という)のシステム上に、事前に消防庁が設定した申請フォームを使用して届出しているのか。あるいは、消防本部が届出に使用している様式をエクセル表のような形式で設定し、ぴったりサービスから入力、ダウンロードできるようにしておくのか。
- 消防本部は、事前に消防庁がぴったりサービス上に登録した入力フォームを活用して届出を受け付けることとなり、申請者は、そのぴったりサービス上の入力フォームに申請内容を入力し、必要な書類を添付して申請を行う。消防本部は入力された情報を CSV 形式で取り込む。「資料4-4」の P.12 以降に画面イメージを掲載しているので、別途説明する。
- メリットとして説明のあった、申請データのバックアップを取得し次回の申請時に活用する方法については、申請者が申請したデータを自分で管理しておくということか。
- 申請者が申請したデータを自分で管理しておく必要がある。「資料4-4」の P.30 の図に示している「控えをダウンロードする」ボタンで控えをダウンロードしておき、P.13 の左図に示している「申請の再開」からアップロードすると、前回の申請情報を活用して申請ができる。
- ダウンロードできる PDF と CSV のうち、CSV をぴったりサービスにアップロードすると前回の申請データを活用して申請が可能ということか。
- そのとおり。
- 導入当初の方式としてはそれでよいと思う。CSV データの集計方法は各消防本部に委ねるのか。
- 申請データを取り込んで業務処理する部分は別途消防本部ごとに対応いただく必要がある。
- 了解した。RPA 等のツールを活用すれば、より消防本部の事務処理時間の削減に繋がると思われるので検討いただきたい。
- 「資料4-1」P.12 に記載されている、電子申請導入に伴い削減された紙の量について、大規模ショッピングセンター2 社から申請があった「消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告」の手続で紙の枚数が大幅に削減されているが、P.11 の削減時間の表でも処理時間が大幅に削減されているため、規模が大きい事業者で削減効果大きいことは見て取れる。一方で、

以前ぴったりサービスの仕様で大容量のファイルが添付できないと伺った記憶があるが、実証実験においてそのような事例はあったのか。

- 今回の実証実験では該当する事例は承知していないが、大容量のファイルが添付できない場合についても対応できるように導入マニュアルには記載している。消防本部にヒアリングしたところ、図面等の添付書類が多い大規模な防火対象物の場合は事前協議を重ねることが多く、その際に提出された書類を活用できる場合もあるようである。
- 現在の添付方法に問題があるということではなく、前回の申請情報をバックアップして再利用しようとしても、大容量のファイルの場合添付ができないので、特定のファイルサイズを超過した場合はオフラインで提出するという手段もあるかと思われる。また、添付書類が特定のファイルサイズを超過するケースが少ない場合はオフラインでの手段でもよいが、超過するケースが多い場合は申請の在り方から見直さないと、機能しなくなるおそれもある。
- 大容量のファイルの添付ができない場合は、消防本部にメール等で別途送付いただく対応としている。あわせて、各届出において求められる添付書類を整理していく必要があるため、引き続き検討していく。
- 大容量のファイルの受領については、ファイル共有サービスを使用する対策等もご検討いただきたい。
- 承知した。

(2)「議事(2) 標準モデル報告書、導入マニュアルの取りまとめ」

- 実証実験に参加した事業者からの意見で、ぴったりサービスの申請フォームの変更に関する要望は多かったのか。
- 申請フォームの変更に関する要望は事業所のみならず消防本部からも受領している。消防本部からの要望として入力内容の引継・簡素化があったが、入力内容の引継に関してはその可否について消防本部ごとに相反する要望があったため、意見を総合した対応を行っている。
- 入力内容はできるだけ簡素化できるようにお願いしたい。プルダウンで必須項目の「用途」については、プルダウンリスト以外の「その他」というケースは生じないのか。
- 「用途」を含め、プルダウンで設定している項目に関しては、いずれかの選択肢に必ず該当するように設定している。
- スマートフォン等で入力する際に、全角と半角の区別をつけずに入力するケースがあると思われるが、ぴったりサービスで適切に修正して入力できる機能はあるか。この機能が実装されていないと、入力されたデータにより同一情報であるにも関わらず突合できなくなる可能性があると思われる。
- ぴったりサービスの仕様を確認する。
- 対応されていない場合は改善を検討していただきたい。また、今回スマートフォンやタブレットを使用した申請はあったか。分かるようであれば状況を教えていただきたい。現在の入力フォームだと、タブレットでは申請しにくいと思われる。推奨環境はパソコンであると思うが、タブレットを使用しても申請がしやすいかは、今後の議論になるかと思われる。
- 承知した。ぴったりサービスでの電子申請はスマートフォンの使用も考慮しており、実証実験中

に使用デバイスについてのアンケートを実施していたので状況を確認する。

- 承知した。

(3)「議事(3) 電子申請等の普及策」

- 議事(3)については特にご意見、ご質問等はないようなので、本日寄せられた様々な意見をもとに、委員長と事務局で報告書を整理し取りまとめを進める。

(4)その他

- 電子申請については、入口部分はとりあえず整備したが、実証実験の結果を見てもまだこれからだと感じている。電子申請を受け付けた後に、予防業務システムや電子決裁とリンクしないとなかなか成果が上がらず、中途半端な結果となってしまう。過去の方法にこだわってはいなかなか合理化が進まないので、ぜひ積極的にこの機会を捉えて御努力いただきたい。
- 今回の電子申請導入に当たっては、マイナポータル・ぴったりサービスを利用することが前提であるが、所管省庁であるデジタル庁の皆様にご対応いただいた。また、至らぬ点もあったなかで、実証本部の方々のご協力により一定件数の届出を電子申請により受け付けることができ、実証実験の有効性を高めることができた。この場を借りて感謝を申し上げる。今回いただいたご意見を踏まえ、電子申請の導入を進めていきたい。
- 追加の意見等ある場合は、本日より1週間後の12月16日(木)までにご連絡いただきたい。

以上